

科目名	国語教育史			担当教員	中村 哲也	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	
期待される学修成果						
アクティﾌﾞ・ﾗｰﾆﾝｸﾞ の要素	プレゼンテーション					
実務経験	なし					
実務経験を生かした授業内容	なし					
到達目標及びテーマ	わが国の国語科教育の歴史の変遷(授業の方法・実践形態、教科内容等)を理解し、国語科教育の歴史的な知識を深め、国語科教師となるための認識、態度、使命感を養うことを目的とする。					
授業の概要	1) 明治期以降の近代の国語教育の歴史の流れを押さえるー「国語科」の成立 2) 近代の国語国字問題と国語教育ー国語政策と国語教育のかかわり 3) 近代以降の日本人の言語表現の変遷ー子供の作文表現から捉える 4) 日本の戦後80年の国語教育実践の歴史ー民間教育団体が提起した理論・方法について 【デジタル技術利用 該当番号：③、④】					

授業計画	
第1回	ガイダンス 授業の流れの説明
第2回	・「国語科」の成立ー国語科はいつ、どのようにして作られたか。
第3回	・日本の近代化と国語国字問題ー上田万年を中心に
第4回	・日本の近代化と国語政策ー仮名遣いの改革と挫折
第5回	・作文表現の歴史的変遷ーわが国の重要な教育遺産として「生活綴り方」
第6回	・戦後の国語科教育の歴史ー民間教育を中心に全体の流れをどうとらえるか
第7回	・「単元学習」と大村はま
第8回	・「児童言語研究会」ー「一読総合法」への道
第9回	・西郷竹彦と「文芸研」ー文芸理論と文学教育
第10回	・「読みの授業研究会」ー「構造よみ」の提唱
第11回	・「教育実践の法則化運動」ー向山洋一の国語の授業づくりをめぐる
第12回	・読者論と文学教育
第13回	・言語教育の観点から国語教育史を捉える
第14回	・「平和教材」をどうとらえるかー平和教材の歴史を振り返り、戦争体験者ゼロ時代を迎えて、新たな制を教材のあり方を考える
第15回	まとめと国語の課題について話し合う

事前学修		・指定した資料等に目を通し、疑問点などを整理する。
事後学修		学習した内容を振り返り、今後につながる課題を探る。
フィードバックの方法	・実践観察、教育実習などの授業観察、授業実践において、教科書や教育内容・方法についての歴史的な位置づけを深く考える。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	50%	関心・問題意識の深まりとともに、内容の理解度を見る
上記以外の試験・平常点評価	50%	授業への参加態度、話し合いでの議論等を中心に評価する

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	授業の際、適宜指示する。			